

# 理学療法士・作業療法士国家試験対策授業 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

## 【登校にあたってのルール】

- ・公共交通機関の利用  
登下校時間は、公共交通機関が混雑する時間を避けるよう設定し、学生は乗車中もマスクの着用を徹底する。
- ・マスクの着用  
マスク着用率は100%とする。学生はマスクの予備を準備する。
- ・消毒の徹底  
教室前に消毒液を設置し、休憩時間を利用して、学生は手指消毒を徹底する。  
使用する机等を消毒する。
- ・検温の実施  
当日、起床時に検温を実施し健康チェックシートに体温を記入する。  
登校後は昼休みに教室前の検温機にて検温を実施し、健康チェックシートに記入する。  
起床時に発熱を認める場合は登校しない。昼休みに発熱を認める場合は、すみやかに下校し病院を受診する。  
その他、新型コロナウイルス感染症様症状がみられる場合(のどの痛み、倦怠感等)も登校しない。また、登校後症状がみられた場合は、すみやかに申し出ること。
- ・教室の換気  
教室のドアは常時開放し、換気に努める(休み時間は窓を開けて換気する)。
- ・教室内の行動  
休憩以外は話さない。大声を出さない。
- ・学校内における密集回避  
休憩時間、トイレ使用の密集回避に努める(他の階のトイレも活用すること)。
- ・昼食時の対策  
昼食時は私語厳禁とし、昼食は前を向いてとること(対面で昼食をとるのは禁止する)。  
昼食は持参すること。
- ・授業  
学生は2教室に分かれ、1教室は収容定員の1/4未満とする。  
また、対面とならぬよう座席レイアウトを配慮し、学生同士の間隔は1m以上とする。  
学生は国家試験過去問題集に取り組み、分からない箇所を教員に質問する。  
教員と学生の間隔は1m以上確保する。教員はマスクを着用する。

## 【日頃からの管理方法】

- ・毎日、健康管理チェックシートに体調を記入する。
- ・登下校中、不必要な寄り道を避けること。
- ・不要・不急の外出は避けること。
- ・接触確認アプリ(COCOA)をダウンロードし、陽性者との接触の有無について確認できるようにする。

## 【使用教室】

- ・理学療法学科は、701・703教室を使用する。